

2021 年度第 4 回理事会議事録

日 時：2022 年 3 月 23 日（水）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

場 所：Zoom によるオンライン会議

出席者：長塚隆・会長、尾崎聖太郎・事務局長、岡慎一郎、田沼繁、
上田広子事務局員

委任者：惟村直公・副会長、小形浩道、福田直美、松下裕、村上篤太郎

議事に先立ち、会長より、本日の Zoom によるオンライン会議の出席人数について、定款第 28 条第 2 項（定足数）に満たないが、メールにて事前に配付した議事資料を基に、オンライン出席できない理事のうち、4 人から全議題について承認（会長に一任）を得たこと、また、1 人から 1 議題について意見が寄せられたことを踏まえ、これらを委任者として定足数に含めることをオンライン出席者に承諾を得た上で、開催を宣した。

なお、オンライン出席できない理事から意見があった議題については、該当議題で審議するとの説明があった。

議 題：

1. 議事録署名人の選任

本議事録署名人として、岡理事及び田沼理事を指名した。

2. 前回議事録の確認

前回（2021 年度第 3 回理事会）議事録の確認を行い、異議なく承認された。

3. 2021 年度事業報告（案）

事務局より、2021 年度事業報告（案）について、2021 年度上期の活動は前回の理事会で報告済みのため、主に 2021 年度下期の活動報告があり、異議なく了承された。

4. 2021 年度会計報告（案）

事務局より、2021 年度会計報告（案）について、主に次のような説明があった。

- ・ 事業収入のうち、抄録索引作成受託費については、受託額が 26%強上回り、増収となった。
- ・ 一方、経常支出の部のうち、抄録索引作成費の賃金については、受託額が多かった分、賃金の支払いも増額となった。
- ・ 次期繰越収支差額は、前回の理事会で示した補正予算額より、減額幅は縮小できる見通しである

以上を踏まえ協議した結果、異議なく承認された。

5. 2022 年度事業計画（案）

事務局より、2022年度事業計画（案）について、例年の事業を踏襲しつつ、新たに抄録・索引作成等担当者の人材育成に取り組むたいとの説明があり、異議なく承認された。

6. 2022年度理事・監事候補（案）

事務局より、現理事・監事の任期は2023年度通常総会当日までであるが、任期途中での辞任の申出のため、2022年度理事・監事候補（案）について、次のとおり説明があった。

- ・ 現理事からの辞任の申出により、理事の欠員補充を行う必要が生じたことから、個人会員の下田尊久氏を新任理事として推薦したい。
- ・ 監事についても、2022年度通常総会以降の欠員補充を行う必要があることから、個人会員の北川正路氏を新任監事として推薦したい。

以上を踏まえ定款に則り審議した結果、新任理事については、本理事会にて満場一致で承認され、新任監事については、通常総会にて承認を得ることとした。

なお、会長より、今後も新たな方に理事をお願いしていきたいので、紹介等ご協力願いたいとの発言があった。

7. 2022年度理事の担当・分担（案）

事務局より、2022年度理事の担当・分担（案）について、主に次のような説明があった。

- ・ 編集委員会委員長は、会長（理事）とする。
- ・ セミナー委員会委員長（理事）より、メールにて、所属先の事情から委員長辞任の申出があった。
- ・ 受託事業検討会は、2021年度に引き続き置くこととする。
- ・ 新設の検討会として、抄録・索引作成等担当者の人材育成検討会を立ち上げる。

以上を踏まえ審議した結果、セミナー委員会については、委員会の中で今後の活動全般を検討してもらうこととし、ほかの委員会・検討会については、原案のとおり承認された。

なお、理事より、今後の理事の担当・分担について、編集委員会以外の委員会・検討会は、理事会全体が責任をもってフレキシブルな対応を求めていく時期になったのではないかとの意見があった。

8. その他

理事より、今年度いっぱいでの辞任を申し出た理事の職務期限について質問があり、事務局長より、期限は今年度いっぱいであるが、次の通常総会に出席を要請したいとの説明があった。

議 長 長塚 隆

印略

議事録署名人 岡 慎一郎

印略

議事録署名人 田沼 繁

印略